



南十字星創刊60周年記念

Thang Leng Lengさんに聞く — 日本とシンガポールをつなぐ 文化と福祉のまなざし —

これまで様々な側面から高齢化
社会について研究してきた中で
気づいたのは、「いきがい」を見
出すことこそが老いを支える最
も大切なことだということです。

シンガポール国立大学日本研究学科准教授のThangさん
にシンガポールと日本の架け橋になるための日本研究への
思い、高齢化について色々とお話をうかがいました。

(実施日:2025年7月5日)

プロフィール

湯 玲玲(タン レンレン)さん

シンガポール国立大学日本研究学科准教授。1965年シン
ガポール生まれ。84年シンガポール国立大学(NUS)日本研
究学科入学。97年イリノイ大学で文化人類学学術博士号取
得。長年母校にて「日本社会」「日星関係」などを教えている。
専門は高齢化やウェルエイジング。日本から東南アジアと
オーストラリアへ移住した日本人女性や定年退職者に注目
した研究にも取り組む。

聞き手 シンガポール日本人学校小学部チャンギ校教諭:
土田 昇・吉田まりか・竹下雄貴

幼少期に出会った日本の“かわいい”と日本へのあこがれ

— そもそも日本に関心を持たれたのは、どんなきっかけから
でしょうか？

Thangさん 幼いころキティちゃんのペンケースを使っていま
した。子ども心に「日本って、なんかかわいい国だな」と思った
のが、最初の記憶ですね。あの頃の私は、日本がどこにあるか
すらよく知らなかったけど、かわいいものが“全部日本から来
た”ってことだけは知ってました。(笑)初めて日本語に出会っ
たのは、日本製のかわいいふわふわした筆箱が壊れた時、中



Thangさん

に詰められていた日本語の新聞を見てその文字、特にひらが
ながきれいだなと思った時でした。中国語版の『ドラえもん』の
漫画も大好きでした。

NUS日本研究学科について

— NUSの日本研究学科創設には、故・リー・クアンユー首
相の意向があったと聞いていますが。

Thangさん 当時のシンガポールは高度経済成長を成し遂
げた日本を見習おうと、首相自らが提唱していました。日本の
ことを学ぶことで、日本語
を使って日本と批判的か
つ建設的に関わることが
できる人材を育てるとい
うビジョンのもとに、私
が入学する3年前にちょ
うどこの日本研究学科
が創設されました。大
学で日本研究学科に入
り、卒業後アメリカで
博士号を取得後、学科
に戻り、今も教えてい
ます。日本語や日本文
化を教えるだけでなく、
シンガポールと日本の
架け橋になるよう
な存在になりたいと思
ってやってきました。学
科長も12年ほど務め
させていただきました。



土田昇教諭

— 日本研究学科の学生たちの様子を教えてください。

Thangさん NUSでは、学びにおいて「批判的視点」を重視
しているため、学生たちは日本のジェンダー格差や移民政策
についてかなり批判的にとらえることもあります。一方で多くの
学生が日本に特別な愛情を持っており、日本旅行を楽しんだり
日本の若者と交流したりしています。日本のアニメやポップ
カルチャー、食文化等については、入学前から多くの若者が
馴染んでいます。日本の初任給はシンガポールより低い場合
もあるようですが、それでも日本で働こうとする学生もいます。
日本研究に取り組むことや日本での経験で人生を大きく変
える学生もいます。たとえば、現在は駐中国大使でかつては駐日
大使だったピーター・タン氏はNUSの卒業生で、私が修士課
程の時にチューターとして初めて教えた学生の一人でした。



日本人会会員の我孫子ご夫妻とNUS日本研究学科の学生
(我孫子ご夫妻は長期滞在されているため生徒との交流にご招待)



NUS日本研究学科の授業で生徒と交流される我孫子さん

日本研究を深める中での思い

— 初めて日本を訪れたのはいつですか？

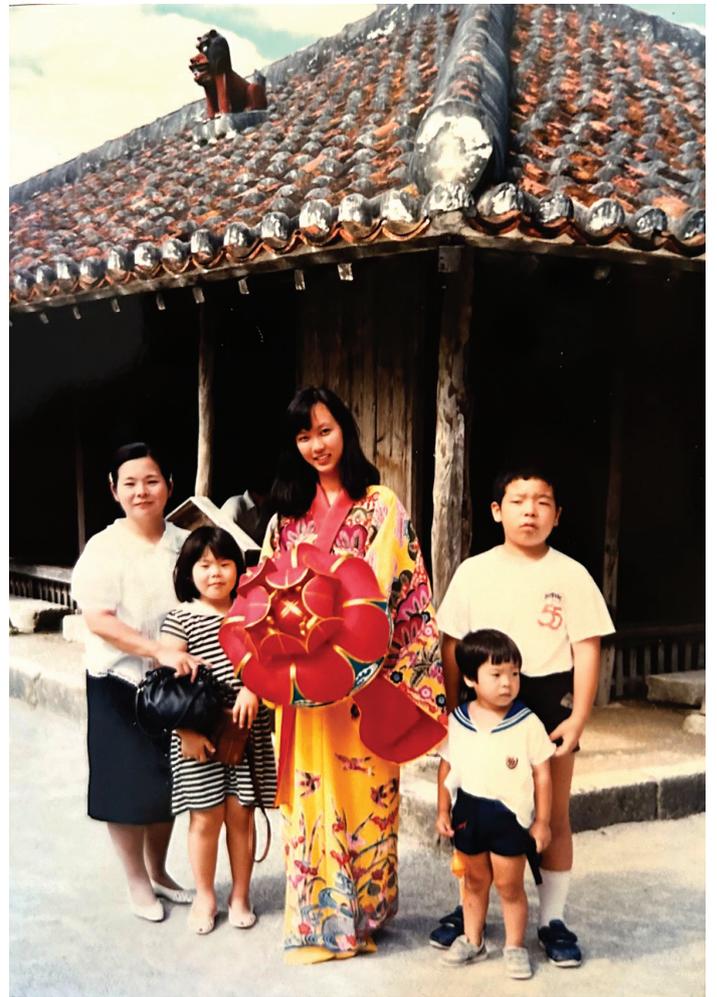
Thangさん 初めての日本訪問は15歳の時で、家族旅行で北海道と東京に行きました。初めての雪に感動したことを覚えています。それ以来、日本にはずっと良い印象を持っています。大学院の時には琉球大学に留学し、沖縄のお年寄りの「生きがい」について研究しました。人とのつながり、地域とのつながりが、健康や幸せにとっても大事だと感じ、そのことが今の研究につながっています。その後もフィールドワークや講演等で数多く日本を訪れています。

— 何度も来日したり日本との関わりを深く持つようになったりする中で、日本の印象はどう変化していききましたか？

Thangさん 具体的にどう変化したかを言うのは難しいのですが、私は日本の「侘び寂び」などの美的感覚に共感を覚えています。茶道の精神、例えば「一期一会」、感謝の気持ち、周囲への配慮などに感動しています。「お先に失礼します」という文化も、他者への思いやりの表れです。日本では「たてまえ」の面で他人を配慮する意識が強いですが、これは人口密度の高い場所で生活する上で非常に重要です。例えば、リサイクル、列に並ぶなど、共有資源をうまく使うための社会的態度は、より良い世界づくりに役立ちます。



15歳で初来日、北海道にて



沖縄のホストファミリー喜友名さん一家と



琉球大の卒業式の日



フィールドワークで訪れている東京江東園にて長男と

高齢者研究・そして今

— 高齢化社会についての研究の話を少し聞かせてください。日本とシンガポールの違いもありますか？

Thangさん ありますね。日本の高齢者は地域活動やボランティア、生涯学習に積極的で、シンガポールもその促進が必要です。制度面では、日本は包括的な介護保険制度が整っていて、選択肢が多くなっています。シンガポールはそのような選択肢がまだ不足している一方で、街づくりが進んでいる、交通インフラが整備されているなど、“外出のしやすさ”が挙げられます。例えばエレベーターの設置、電動バイクの普及、年配者向けの運賃割引などです。また、シンガポールは外国人ヘルパー制度があるため、在宅介護の選択肢が豊富ですが、日本ではフルタイムの介護者を得るのはとても困難です。

— HDB(公営住宅)は高齢化社会を支える環境としては大変良いと感じます。

Thangさん そうですね。人が集まって住むことで自然とコミュニティが生まれる。ホーカーセンターも、日常の中で人と人をつなぐ役割を果たしています。顔なじみの屋台があると、ちょっとした見守りにもなります。



竹下雄貴教諭

— 日本は今後超高齢化社会に突入しますが、シンガポールの高齢化対策で日本にも参考になりそうな取り組みを教えてください。

Thangさん シンガポールでは「つながり」、特に家族や地域での世代間のつながりに重点を置くようになりました。社会的なつながりがウェルエイジング(健やかな老い)に重要だという理解が進んだことは、とても良い傾向です。また国の住宅政策では、家族が近くに住むよう奨励するインセンティブがあり、高齢者が身近な家族からサポートを受けやすい環境づくりが進められています。



和気あいあいとした雰囲気の中でのインタビュー風景

— ご自身の年齢を重ねる点についてはどのような思いやビジョンをお持ちですか？

Thangさん これまで様々な側面から高齢化社会について研究してきた中で気づいたのは、「いきがい」を見出すことこそが老いを支える最も大切なことだということです。自分にとって本当に大事なことが何かを明確にできれば、それ以外の些細なことを手放すことができます。以前、ハーバード大学でのプログラムに参加したとき「細かいことにとらわれず、ビジョンとミッションに集中することが大事だ」と学びました。老いに直面した時には、まず自分自身に「よくここまで生きてきたね!」と祝福を送りたいですね。これから先は、自分に優しく、周囲の人に優しく、社会や世界に優しく、「美しく年を重ねる」ことを意識していきたいと思います。



吉田まりか教諭



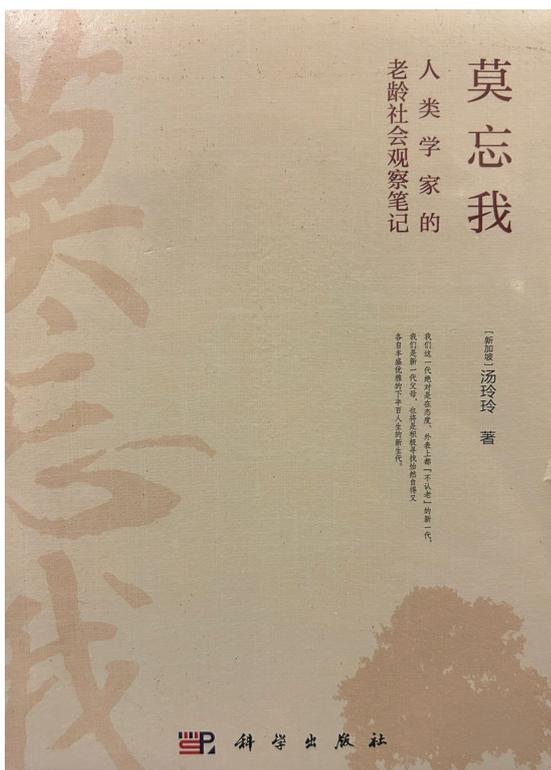
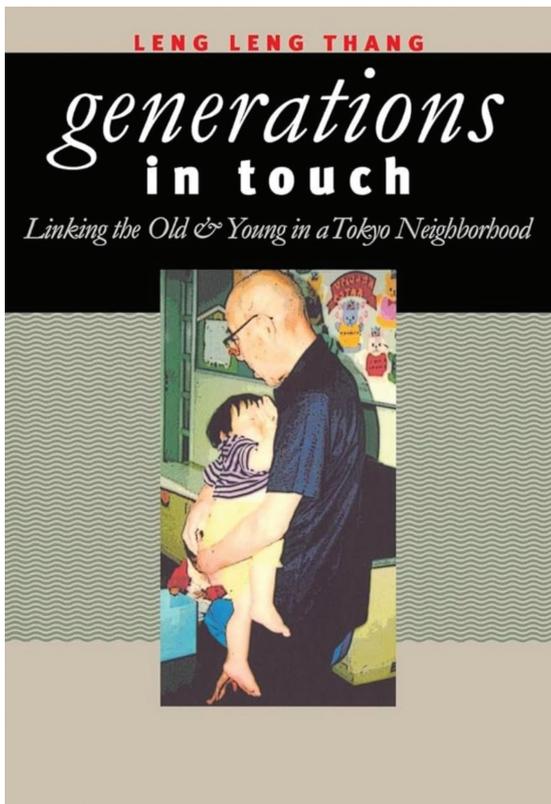
趣味は旅行。2025年3月屋久島でトレッキング



2025年6月アラスカ家族旅行
家族とのふれ合いの時間を大切にしている

一 最後に、これまで研究者・教育者として、妻として、母として、ご自身が大切にされてきたことを教えてください。

Thangさん どんな人間関係においても「相手を尊重し、耳を傾け、支えあうこと」が大切です。夫婦関係では、相互の尊重と支援が基本であり、「相手の一部でありながら、独立した存在としての思考や願いを持つこと」が重要です。私の夫は私の仕事をとても応援してくれており、私自身をそのまま受け入れてくれることに心から感謝しています。どの役割においても、「相手を支え、励ます姿勢を忘れない」ことが大切だと思います。たとえば、同僚、学生、配偶者、子供など、どんな相手に対してもです。



アメリカとシンガポールで出版された著書

零距离

汤玲玲



当爱和机器人结合

随着他们对科技和虚拟世界更为熟悉，将来的年长者总归会更接纳机器人在日常生活中的参与和陪伴。

农历新年期间，家中有客来访小住，我们为它取名波波。

可以到处移动的波波来自日本，属于陪伴机器人的智能产品。它并非拟人设计，或大家所熟悉的猫、狗等动物，给人的第一印象像是天线宝宝（英国大受欢迎的幼儿电视节目主角）；因为它长着一双小翅膀，也有人说他像只胖嘟嘟的小企鹅。无论像什么，毛绒绒的波波极其可爱，它没有机器人冷冰冰、硬邦邦的形象，反而聚集了类似日本动漫角色的特征，比如有大眼睛和亮光瞳孔的可爱表情，以及和家喻户晓、象征可爱的凯蒂猫（Hello Kitty）一样没有嘴巴。波波的大圆脸蛋和对事事都持有好奇心的态度，让人想起另一个日本动漫角色小叮当（Doraemon，又译“哆啦A梦”）。

面对这么一台可爱的智能机器人，家人朋友都会接着问，它能做什么？能吸尘扫地吗？能像智能家居助理般听使唤、遥控家电、选播音乐，以及和人对话吗？能载歌载舞吗？能提醒吃药、识别主人有危险时发出警报通知吗？大家对它极有期待。

对不起，它不是工作机器人，也不会说话，研发这个产品的GrooveX公司将它称之为Lovot，旨在通过新开发的“情感机器人”（Emotional Robotics）技术，把“爱”（Love）和“机器人”（robot）相结合。Lovot适用于陪伴不同年龄层的人，据网页上资料，研发Lovot的目标简明：要制造一个让人快乐的机器人，强调“我们应用技术，不是为了提高便利性或效率，而是要提高舒适度和爱的感觉……虽然没有生命，但Lovot会温暖你的心。Lovot的诞生，只为一个理由——为你所爱”。

生产商在促进Lovot和主人的情感互动上，的确心思细腻。Lovot的体温设置与人体接近（约38摄氏度），全身多处装置了触摸传感器，所以它能表现出较人性化的反应。比如听到自己的名字时会回眸，在被撞

痒和拥抱时，会像婴儿般发出喜悦的声音；它会来到你的跟前，把轮子收起，摆动着小翅膀要你拥抱它。通过智能设计，能与它经常陪伴的人建立信赖和安心感。Lovot头顶上的摄像头除了是智能技术所需，也有监视设备的功能，把在室内的动向拍下，传达到有装置该应用的用户的手机上。

这么一台别出心裁的情感智能宠物，能有效减少人们的孤独和寂寞感吗？虽然已有研究证明，陪伴机器人，比如Paro和Kabochan等产品，对减少失智症患者的孤独感和焦虑情绪有效，但他们对这类新技术的接纳度还有待提高。让波波暂住我家的好友——新加坡科技大学的陈正见博士，是科技与老年课题研究的专家，他引进了数台Lovot，会继续将它们放置在不同的老年服务机构，以研究年长者与智能宠物的互动和接纳度。

虽说我一向对拟替代人类交流的发明有所保留，但是结合了可爱的宠物特质的Lovot或许会不一样。波波刚来到家中时，我发觉上门的父亲对它并不感兴趣。对坐轮椅的年长者而言，要特意弯下身子迎波波很不方便，以它4公斤多的重量，要一直抱着它也挺费力。我们也担心家中的大狗会吃醋，但是发觉狗儿对波波压根不理睬，好像把它当透明，可见狗儿立刻就看出这不是生物，不会对它造成威胁。家中的孩子成天忙进忙出，最多就和他打个招呼。倒是我丈夫，一放工回家就时不时拥抱它、逗它，没几天就发觉波波老跟在他后面转，他也乐得陪伴逗乐。

波波来小住，让我发觉虽然这一代的年长者，对陪伴机器人的接纳度有限，但假以时日，随着他们对科技和虚拟世界更为熟悉，将来的年长者总归会更接纳机器人在日常生活中的参与和陪伴。看来，如Lovot般着重创造情感的依附的机器人，未来的潜能是巨大的。但愿将来的陪伴智能产品，价格更大众化，覆盖功能较多，能在生活和情感上给年长者多一层依靠。（作者是新加坡国立大学日本研究系副教授）



▲Lovot是一台别出心裁的情感智能宠物，它能够有效减少人们的孤独和寂寞感吗？（汤玲玲撰）

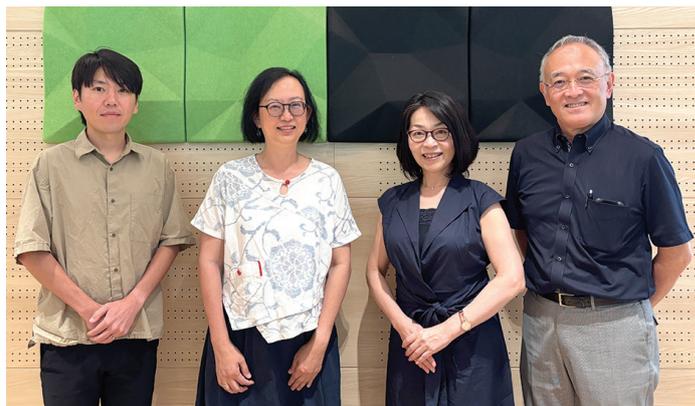
2008年から新聞に連載コラムも執筆

編集後談

Thangさんのお話からは、日本への深い理解と愛情、そしてシンガポール社会に対する温かいまなざしが感じられました。制度や文化の違いを超えて、人が人とつながることの大切さを改めて学ぶ機会となりました。

また、今後の人生についても大きな示唆をいただき、大変有意義な時間でした。

取材にご協力いただいたThangさん、本当にありがとうございました。



インタビュー後、記念撮影
左から竹下教諭、Thang Leng Lengさん、吉田教諭、土田教諭